

つばめ会会報

“Slope”

第20号



目次

幹事長の言葉	岡部健志(21期)	2
会長の言葉	浅野昭(12期)	3
部長の言葉	比嘉友紀(27期)	4
コーチの言葉	北村伸介(25期)	5
世界選手権報告	円井基史(19期)	6
OLT杯を駆け抜けて	小山温史(27期)	8
つばめ杯を頂いて	徳江勇樹(23期)	9
OLT杯運営報告	北崎茂(25期)	10
ロングセレ・ICLの運営感想	岡英樹(25期)	11
近況報告	山田俊介(19期)	12
近況報告	斉藤孝男(23期)	14
2006年度つばめ会活動報告		15
2006年度つばめ会会計報告	田中淳一(23期)	16
ML・ホームページ・掲示板について		17
編集後記		18

写真：世界選手権 2006@デンマークのスプリント予選を走る円井選手(19期)

<http://photos.woc2006.dk/album/WOC-2006/index.html> より。(img_5651)

幹事長の言葉

岡部健志 21 期

もうすっかり冬めいてきました。私が今住んでいる東広島は盆地という場所柄もあり、秋に入るとあっという間に寒くなるため残暑というイメージがあまりありません。また昼と夜の温度差も大きく、朝は涼しく長袖を着ていくのですが昼になると暑くなり半袖が欲しくなったりします。風邪をひくと休日も仕事も面白くないですから体調には気をつけたいですね。

さて、10月に山梨県のみずがきの森で OLT 杯が開催され、私も参加してきました。新宿から直通バスが用意されており、3 時間ほどで会場に到着しました。コースは約 5 キロでしたが最近ほろくに運動もしていないため後半はほとんど走れませんでした。やはり、もうすこし普段からランニングなど運動をしなければいけないと感じました。

会場ではつばめ会の方々にも久しぶりにお会いしました。山梨という場所にもかかわらず多くの OB が参加されていました。和田さんは自転車姿での登場かと思えば小淵沢から自転車でやってきたとのことでした。かなり距離があるはずなのですがその実行力には恐れ入ります。大会後は OB で集まって増富ラジウム温泉にも行きゆっくりしてきました。当日はその後現役と同じく八ヶ岳レジャーセンターに泊まりました。レジャセンに行ったのは何年ぶりか忘れましたがさすがに懐かしく、自分がその場にいることに対して不思議な気持ちになりました。日曜にも OB を交えてリレーが開催されたのですが、広島に帰らなくてはいけないため先に失礼させていただきました。社会人になってからはなかなかオリエンテーリングに参加する機会もないのですが、たまには予定を見つけて参加しようと思っています。

話は変わりますが、つばめ会の活動のひとつに名簿の管理、更新があります。現在は1年に1回メールを通してつばめ会のみなさんにお渡ししているだけですが、せっかくある名簿を何かに活かさないものかと考えていました。そこで今考えているのが現役、OB1年目の就職活動に使えるか、というものです。つばめ会のOBのみなさんの中には現役、OB1年目と同じ学科、研究室に所属していた方や目指している企業に勤めている方もたくさんいらっしゃるはずですが、そこでつばめ会がOB訪問などの橋渡し役を出来ないかと考えています。とはいえ連絡先などの名簿情報をそのまま OLT 部員に渡すことはできませんから、どういった仕組みにするべきか検討が必要ですが…。いずれ何らかの案を提示しようと思っていますので、みなさんの意見もぜひお聞かせください。

会長の言葉

12期 浅野 昭

昨年8月に愛知県にてオリエンテーリング世界選手権が開催され、我がつばめ会から田中淳一選手（23期）がトレイルO競技、また松澤俊行選手（2000年度コーチ）がフットO競技の日本代表選手として出場しました。（あと僭越ながら、わたしも役員として大会運営のお手伝いをいたしました。）実はこのときは素直につばめ会のOL界での躍進を喜んだものの、正直なところ、この勢いはバブル的なものではないかと考えていました。

が、それはとんだ思い違いでした。今年のトレイルO世界選手権の日本代表選手に田中淳一選手が2年連続で選出され（残念ながら仕事の都合により出場辞退されてしまいましたが）、フットO世界選手権の日本代表選手に松澤俊行選手とともに、円井基史選手（19期）が3年ぶり2度目の選出されました。（すでに大会自体は終了してしまい、今さらになってしまいましたが）本当に各選手のみなさん、おめでとうございます。

この秋から冬にかけても、各地でOL大会は開催されています。つばめ会会員のみなさんも、久しぶりのオリエンテーリングを楽しんでいただければ、そして、それがつばめ会会員間の親睦につながれば、会長としてこんなにうれしいことはありません。

部長の言葉

27期 比嘉 友紀

日に日に寒さが増します今日この頃、皆様お元気に過ごされていますでしょうか。暑かった夏も終わり、今年度も折り返し地点を通過いたしました。我々現役 OLT 部員は変わらず過ごしております。

今回は無難に部員の近況をご報告させていただきます。1年生は大学生活にも部にもだいぶ慣れて、他の学年を圧倒するくらいに本当に元気いっぱいです。今年は入部した人数が少なかったために後期にも新歓を行いました。今のところ二人ほど新しく顔を見せてくれています。工大祭も手伝っておりましたし、今後部に定着してくれるとうれしい限りです。2年生は部の仕事にもだいぶ慣れてきて、来年は彼らなりの運営をやってくれることでしょう。もうすぐ来年の部長選が行われます。私個人の考えでは部長に一番必要なのは、話し合いで皆の意見をまとめる力だと思うのですが、どうでしょうか。いずれにしても今の2年生にはこれからも頑張ってもらいたいです。3年生は相変わらずといった感じですかね。後期になり、取る授業数も少ないのでトレーニングやバイトなど自分の時間が増えたみたいです。私はまだまだ授業が詰まっておりますが、4年生は研究室に入り忙しいようで、なかなか部活動に参加する機会がないみたいです。それでもときどき部室や大会に顔を出してくれています。

もうすぐミドルセレが行われます。今年も多くの人が通過できるように頑張ってもらいます。そして、インカレミドル・リレーに向けて部員が一丸となってやっていけたらいいなと思います。

コーチの言葉

25期 北村 伸介

今年度のコーチは私、木平、村上(全員 25 期)の 3 人体制となっています。私がヘッドコーチという形で、他の 2 人と共に現役側の支援などを行っています。

今年度も既に半年が過ぎてしまいましたが、コーチとして関わった主な行事は以下の通りです。

- ・ ロングセレ@りんごの里(群馬県渋川市)
- ・ 秋合宿@りんごの里、赤城(群馬県渋川市、赤城村)
- ・ インカレロング@駒ヶ根高原 2006(長野県駒ヶ根市)

このうちインカレロングについてですが、今年は例年より早い 9 月に行われました。クラブカップと併せて行われたこの大会、観戦していた OB のみなさんも多かったと思います。OLT は選手権クラスに 5 人出場し、小山君(3 年)の 8 位を筆頭に、4 人が学連枠となる 30 位以内に入りました。また、MF クラスにおいても古谷君が 2 位入賞を果たすなど、コーチとしても非常にうれしい結果となりました。また秋合宿についてですが、コーチ全員の他に同期が 2 人ほど手伝ってくれたおかげで、無事に運営をすることができました。この他の行事においても手伝ってくれており、非常にありがたく思っています。

さて、OB として、そしてコーチとして見た部の様子について少し書こうと思います。といっても今でも部室に行ったり飲み会に出たり、私も現役時代と変わらないのですが....

現在の様子ですが、大分“個々”で活動している、という印象を受けます。私が 3 年前に大会係だったころには、それこそ参加を前提として部員全員に聞いて回りましたが、現在は自主性に任せている感じがします。また水曜練などが行なわれた夜に、部室にてみんなで焼肉をしたり鍋をつついたり、といったことも減っているように感じます。どちらも悪いというわけではありませんし、時代が違うといってしまうとそれまでですが、もう少し“集団”で活動してもいいのかなぁと思いました。今のよい雰囲気は残しつつ、大会や水曜練など部としての行事がある際に多くの部員が参加することで、連帯感を高め、互いに競い合ってもらえればと思います。

これからですがミドルセレが 11 月下旬に、そしてインカレミドルが来年 3 月に行なわれます。去年はミドルセレ通過者 17 人、インカレミドル A-final 進出者が 4 人だったので、今年はそれを超えられればと思います。またリレーですが、4 年ぶりの入賞を目指して部員とコーチが力を合わせて頑張りたいです。

最後になりますが、OB の皆さん、ご支援のほどよろしく申し上げます。

World Orienteering Championship 2006 ご支援・応援ありがとうございました

円井基史

2006年5月の国内選考会をトップ通過し、8月にデンマークで行われた世界選手権にスプリント種目の日本代表選手として参加してきました。2003年のスイスの世界選手権に続き(このときは補欠でした)、つばめ会の皆様には多大なるご支援を頂き、大変感謝しております。個人的にはレースの結果・内容ともに揮わず、応援して下さった皆様には申し訳なく思います。しかし、2006年3月に博士課程を卒業するまでは、研究にほとんどの人生をかけていたので、今回の結果はある意味、努力に対して相応しい結果だったように思います(国内代表になれただけでも出来過ぎでした)。今回の世界選手権に参加して、改めて再認識したこととして、世界と対等で戦うためには、僕だけでなく、日本代表選手の多くが、まだまだ取り組み方、意識を変えていかななくてはならないなと感じたことがあります。以下は、ナショナルチームの報告書に書いた文面の転載ですが、その部分について個人的見解を書いています。世界を目指すOLTの後輩たちや、世界に挑戦する選手を今後も応援して下さるつばめ会の皆様の参考になればと思います。

.. ..

僕が海外でオリエンテーリングをしたのはこれまで2回だけです。1回目は2003年のスイスでの世界選手権のとき。2回目が今回、2006年デンマークでの世界選手権。2003年、世界選手権の代表(補欠)になったとき、当時の僕が後進に伝えるべきことは、インカレノーシード、JWOCもユニバも経験したことのない、B級オリエンティアが、どうやって全日本代表への道を切り開いたか、だと思いました。そして今回僕が後進に伝えるべきことは、2005年秋から2006年春までの1年半の期間、競技(オリエンテーリング)から離れ、日々朝9時から夜24時まで学業(博士論文)に没頭していた人間が、どうやって世界選手権代表の座を勝ち取ったか、になるかだと思います。(残念ながら、どうやって世界選手権の決勝へ進んだか、どうやって決勝位になれたか、は伝えることができません。)

しかし、世界選手権で自身のベストパフォーマンスをした上で予選落ちしていくチームメイトを見て、17kmのロング決勝コースを走るトップ選手のスピードを見て、今回この世界選手権を終えて、僕が最も関心を寄せ、今ここに記したいのは、「今後のトレーニングについて」です。そして日本チームに対する、そして競技者たる自分に対する個人的な(あるいは悲観的な極論かもしれない)結論についてです。そこに至るまではいくつかのデータによる考察や推測を経ているのですが(例えば今回のチームメイトの紺野選手や村越選手に行ったインタビューは価値あるものでした)、結論を先に言うなら、それは、「日本男子選手は、現状の生活(多くがフルタイム(1日8時間勤務)以上の仕事に就いてい

る)の中で、どんなにトレーニングをがんばっても、世界選手権での優勝、入賞争い、そして 10 位ですら、到底、不可能だろう」ということです。言い方を変えれば、「フルタイム以上の仕事を続けるのであれば、達成できる現実的目標は、予選通過レベルだろう」ということです。我々(日本男子選手)の前には大きく 2 つあるいは 3 つの選択肢があると思います。1 つは、フルタイム(1 日 8 時間勤務)以下の仕事(あるいは学業)に就き(そして可能なら本場北欧へ渡り)、世界選手権で入賞、10 位、20 位を目指す道。2 つ目は、これまで通りフルタイム以上の仕事を続け、予選通過(決勝では 40~45 位程度)を目指す道。最後の道は、世界選手権に参加しないこと。

今後のトレーニングについて。僕はロングで 10 位という目標を 3 年ほど前に立てたのですが、今となっては、そこに至るまでのトレーニングが、果たして自分に可能かという疑問が生じてきます。今はまだ有益なデータが得られておらず、憶測の域でしかないのですが、僕の今いる現在地から目標(例えばロング 10 位)に到達するためには、「長期に渡るプラン(目的意識)と強度管理が徹底されたフィジカルトレーニングを年間 600~800 時間(うちオリエンテーリングが 100 時間程度)、机上の読図トレーニングを年間 200~300 時間、合計で年間 800~1100 時間程度のトレーニングを今後 5 年間ほど行う必要があるだろう」というのが個人的な見解です(高橋選手より教えてもらったヤニラカネン(今回の男子ロングチャンプ)のトレーニングを参考にしました)(もちろん、これだけのトレーニングを積んでも、目標を達成できるという確約はありませんが)。僕自身は、この 3 年間ほど、年間 500~600 時間ほどのトレーニング(机上トレーニング含む)(移動時間を削るため、オリエンテーリング量は少ない)を続けてきました。今後僕が行うべきトレーニングの道は、1)フィジカルトレーニング量を 2~3 割増すこと、2)長期プラン、強度管理をより徹底すること、3)オリエンテーリング量を(これまでの 2~3 倍に)増やすこと、4)読図トレーニング(アナリシス含む)量を(かなり(10 倍程度に))増やすこと、になるでしょう。

上記のトレーニングを実行するためには、膨大な時間が必要となります。つまりは、トレーニング以外(特に仕事)に対するコミットメント、姿勢、考え方を改めなければならないでしょう(これまでのような朝 9 時から夜 24 時までパソコンに向かって作業している生活では、上記トレーニングの実行はほぼ不可能です)。もっと言えば、人生に対するコミットメントを考え直す必要があります。それができるかどうかです。一番の問題はそこなのです。僕は長年そこで悩んできました。そしてこれまで、そしておそらくこれからも、僕自身が出した答えは、「オリエンテーリングにコミットしない(人生をオリエンテーリングに懸けない)」というものです。これはつまり、世界選手権で 10 位になることは到底不可能な夢物語で、せいぜい予選通過が関の山だ、ということを示しています。

そうは言うものの、心の奥底では、競技にコミットする生活への憧れが、長年に渡ってあり続け、そして今でも(あるいは今だからこそ)、「2 年間くらい、期間限定的に、競技にコミットする(生活のすべてを競技中心とする)人生」に対する憧れ(あるいは現実性のある欲求)が存在します(あ、でも、2 年間じゃ目標達成には足りないな)。憧れを憧れのままにするかどうかは、今後の自分が決めるでしょう。

OLT 杯を駆け抜けて

小山温史(27期)

自分にとってはインカレより大きくはないですが、それなりの位置にある OLT 杯。エースと呼ばれるには絶対負けられないレース。今年は大きく成長した柴本もいる。気合いを入れて走り出した。

内容は悪くないがよくもない。課題もいっぱいみつかった。でも、楽しく走ることができた。今思うと楽しくレースできるなんていつぶりだろうなんて思ったりもする。昨年度のインカレで苦しんで一度オリエンテーリングを離れた。それより全然前だ。気持ちよく走れて優勝。最高のレースになった。そんなすばらしい会内杯を運営してくれた運営者のみなさんありがとうございました。

なにしろ俺が頑張れているのは負けたくない仲間がいるからである。OLT のみんなが走れば俺も走らなきゃって思える。だから次の目標(インカレミドル優勝、リレー3位以内まで) OLT の仲間で一緒に頑張っていきたいと思う。頑張らましょー！！

つばめ杯を頂いて

23期 徳江 勇樹

去る10月14日「みずがきの森」で開催されました第18回 OLT 杯にて、栄えあるつばめ杯を頂きました。競技会全般・レース展開、そしてつばめ杯に関して、この場をお借りしてご報告させていただきます。

今回のOLT杯は、まさに「エンターテインメント」でした。秘境「瑞垣」が色付き始める頃合を見計らった開催、良テレイン「みずがきの森」を堪能させるコース回し、心憎いビジュアル、そしてOLTらしい(レジャセンでの苛烈な)大コンパ・2日目の(千鳥足)リレーという構成...、何よりOLT部員・OBを楽しませようという一貫した心意気が感じられました。非常に素晴らしい大会を開催してくれた総責任者の北崎君を始めとする運営の25期メンバーに心から感謝致します。因みに2日目の朝、レジャセン出発予定時刻の9時には、運営者全員寝潰れ(酔い潰れ?)ていたというのは秘密です。

続いてクラスUU(「うんうん」と読むらしい/詳しくは25期まで)で開催されたつばめ杯のレースに関してです。参加者は、つばめ杯タイトルホルダーの奥田さん・仁多見さん、我らがアイドル岡部さん、自転車で標高1700mに出現した和田さん、そして23期3名(斉藤・田中、そして私)、なぜかオープンクラスの山根さん、おまけに25期(運営者!?)の岡という21A集合といった構成で、昔話に花が咲きました。レース展開は「超パック」。http://oltcup18th.ojaru.jp/oltcup18_lap_uu.htmを見て頂ければ一目瞭然なのですが、3分前の田中、1分前の奥田さん、そして私がピッタリ一緒です。どちらかと言えば「使われ続けた」というほうが正しいかもしれません。1ポで奥田さん、4ポで田中を抜いて、概ね自分が先行するのですが、アップでヒヨったりポスト周りでまごついたりしている間に追いつかれるという条件の繰り返しでした。2分前の選手は運営もどきの岡で、田中の場合と同様に4ポで捕まえたのですが、色気を出したのか特急電車に乗りたくなかったのか、直後に瑞垣の山中に消えていったというのも内緒です。

終わってみればつばめ杯優勝ということで、肝心のナエウマは奥田さん(2位=知能犯)が総取りしていきました。その夜の大コンパではしこたま流し込み、締め切り過ぎの今、こうして記事に落とし込んでいます。今回は斉藤・田中・私という23期元エリートが集まった、非常に稀な機会でした。この3人で全日本リレー併設クラスでメダルを頂いたことはありましたが、実はこれまで23期の手にOLT杯/つばめ杯が渡ったことはありませんでした。蔵田大先生から前田大先生へと一足飛びにカップが飛んで行ったのです。大学卒業して3年目にして初めてカップを手にしたと思うと、色々感慨深いものがあります。とは言え、いざカップを持ってみるとなかなか置き場に困ってしまいました。みなさん、是非来年、私からカップを奪い取って下さい(特に、今回殊更に悔しがってた岡)。そして、楽しい酒を飲みましょう。もちろん(昼も夜も)手は抜きませんので、悪しからず。

OLT 杯運営報告

25 期:北崎 茂

去る 10 月 14 日、今年も無事に OLT 杯を開催することができました。

会場は昨年度の関東学連ロングセレクションと同じ「瑞牆の森」を利用しました。

一般に、オリエンテーリングの大会会場の選定には処女性が重要視されがちですが、これとは逆に、ほぼ全員が入ったことのある場所であればむしろ公平だろうとの判断によるものです。

開催日も土曜日と若干イレギュラーな大会だったかと思われます。

行楽シーズンの土曜日であるため、運営陣ではバスの運行時刻が懸念されましたが、定時に運行することができ何よりでした。大会当日は天候にも恵まれ、参加者は心地よいコンディションでレースに臨めたことと思います。電子パンチングシステムも問題なく動作し、さしたる波乱のない、現状の実力が反映される結果となりました。

OLT 杯は昨年に引き続き小山温史（3 年）が獲得し、つばめ杯は徳江勇樹（23 期）が初めて獲得しました。おめでとうございます。

両氏には連覇を狙っていただくとともに、これとは別に、来年こそはと期する人が増えてくれればと思います。また、今後を担う 1 年生も、運営者の予想を上回るタイムでコースを回ってきました。良い意味で競争原理が働くようになっていくのではないのでしょうか。

さて、ここ数年は 100 人を超える参加者を集める OLT 杯でしたが、今年は参加者が減少しました。今年の大会は「OLT 杯はあくまでも大学クラブの会内杯である」というスタンスに基づいて開催したためです。オリエンテーリング人口が減少しており、大会数も少なくなっている中でこのような判断が適切かどうかは分かりません。また、現役部員各人が他大学の選手と比較できる場を提供できなかったことも確かです。

ともあれ、この判断の是非や今後の OLT とつばめ会の在り方はともかくとして、大会後の表彰式にはたくさんの OB の皆様にも参加していただくことができました。

学校を離れてしまいますと現役部員と触れ合う機会も希薄になってしまいますが、こうした会内杯やその他の合宿が交流の一助となれば幸いです。

蛇足ですが、参加者は減少したものの、スズメの涙ほどではありますが大会の収支は黒字でした。

ご協力、ご援助を頂いた方々には感謝することしきりです。

最後になりましたが、参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

OLT 杯も今年で 18 回を数えることとなりました。これも一重に OB の皆様方の積年の運営努力の賜物です。今後ともつばめ会の皆様の温かい支援が続くとともに、OLT 部員一人一人ならびにクラブ全体としてのさらなる飛躍を祈念しております。

ロングセレ・インカレロングの運営視点からの感想

25 期 岡 英樹

つばめ会と OLT の皆様こんにちは。坪居さんから表題の件について原稿依頼を受けましたのでご報告します。しかし、私はロングセレ・インカレロングのどちらの運営も下っ端中の下っ端でしたから、あまりたいしたことは書けません。「裏方ってこんな感じか」くらいに読み流してくれれば幸いです。

まずロングセレ。実行委員長である北崎の誘いで運営に加わり、私は救護所の担当になりました。救護所は大抵山の中にあるもので、今回も例外ではありませんでした。当日は朝 7 時から現地入りし、15 時にゴール閉鎖となるまでの 8 時間ずっと森の中。森林浴しまくりでした。当日は雨だったので辛かったです。

この救護所担当だったことで、最も近いところでレース中の競技者を見ることが出来ました。泥んこになりながら懸命に走り続ける選手がやってきたり、有力(と思われる)選手があせりながら明らかにおかしい方向からやってきたりする。このレースでインカレの選手権クラス出場権が決まるのだから、改めて「セレって厳しいなあ」と思いました。もちろん OLT のみんなも来ました。事前に私が何処にいるかを話していなかったので、救護所で私を見て驚く人がいて、その反応が面白かったです。でも気付かなかった人もいました。残念。

次にインカレロング。どういうわけか、私の所属する ES 関東 C がインカレ運営協力することになっていました。

前日に駒ヶ根入り。スプリントイベントが開催されている横で速報ボードを組み立てたり、ラスポ～ゴールのテープ誘導(ストリーマー)を作ったりしました。その手の類はきちんと作り方とか規格とか有るのかと思っていましたが、現物合わせで適当に作っていました。

夜は速報ボードに選手名、大学名を貼り付ける作業をクラブ員の人海戦術で行いました。ME60 人、WE40 人、それぞれに中間、最終の 2 枚で計 200 枚。いやー、大変でした。この中にはタイム的に使われないボードもあるので、そこは悲しいものがあります。

当日。中間ラジコンからの情報で、ボードをはめていきます。OLT 部員はスタート時間が早めの選手が多かったのか、序盤は OLT 部員のボードを多くはめて「よっしゃ！」と喜んでいました。中盤は、続々と中間・ゴール通過情報が入り忙しくなります。終盤になるとシード選手が続々と通過し、序盤にはめたボードを外すケースも出てきます。

というわけで、観客ではなく運営という立場からセレ、インカレを眺めることが出来ました。また運営でも、救護所は直接、速報ボードは間接的に選手の様子を掴めて、なかなか楽しめました。皆さんも機会があれば、運営に加わってみてはいかがでしょうか。もっとも、「～長」とつく役職はとても大変だと思いますが。

近況

OLT19 期 山田俊介

皆様ご無沙汰しております。OLT19 期の山田俊介です。長らく学内ニートとして部室に居座り続けていた私ですが、2004 年 3 月に晴れて大学を卒業し、就職して今に至っております。その後 OLT やつばめ会の行事などにもあまり顔を出していないため、いまだ”永遠の 3 年生”と言われた頃のイメージが強い方も多いかと思いますが、本日はそんな私の今を語らせていただきます。

OLT 在籍時と大きく変わったのは 職業 住所 金銭感覚の 3 つくらいでしょうか。

職業

学生(無職) 会社員

大学生生活 7 年目、さすがに追い詰められて一念発起し、遅ればせながら進級 卒業 就職という通常のステップをこなしました。しかしさすがにこんな年代ものをすんなり選んでくれる会社は少なく、かなり難航はしたものの最終的に今の会社に拾われました。後から聞いたのですが、どうやらうちの会社は能力云々ではなくキャラ採用なんだそうです。周囲を見回し、納得です。

住所

東京都大田区 愛知県安城市

に関連して、会社の所在地に引っ越しました。愛知だけあって、味噌は赤味噌です。どこ行っても必ず赤味噌です。たまに食う分にはいいですが、こう毎日だとさすがに飽きます。しかし地元の人に聞くと「これがいいんじゃないか。」とさも当たり前のように言われます。一点の曇りも無い目で言われると、新興宗教にも似た怖さを感じます。もっと客観的な広い視野を手に入れていただきたいものです。

また他の地方都市同様、車社会です。実際、今住んでいる所は半径 2km 以内にコンビニが 3 件ある他にこれと言った商業施設がありません。自立した生活をするには成人一人につき車一台が必要になります。それだけ身近な存在になっているせいか、全体的に運転が荒いのです。ウインカーは気が向いたときにしか出されません。車線もできれば守る程度のもので、名古屋市内はできれば走りたくありません。かといって郊外が安全かと言うとそうでもなく、一般国道が 100km/h 以上で流れてたりします。交通事故死者数 No.1 は伊達ではありません。何度かヒヤリとしたこともありましたが、まだ生きてます。

金銭感覚

これも に関連することですが、学生時代に比べてお金に不自由することがなくなりました。どのくらい変わったかと言うと

- ・切符を目的地まで買う
- ・マックではもの足りずモス
- ・CD をジャケ買い
- ・疲れるの嫌だから高速に乗る
- ・レートが点5

とまあ学生の頃には考えられなかった御大尽っぷりです。もうあの頃の私ではありません。後は躊躇無くチャーシュー麺を頼めるようになることくらいですが、まあそれは来年までの課題としておきます。

ざっと今の生活を語らせていただきましたが、こんなものでご理解いただけましたでしょうか？あまり長くなってもなんなので、自分の車で横転した話とか、レンタカーで横転した話とかはまた次の機会にでも。乱文長文お付き合いいただき、ありがとうございました。それではまたいつかの機会にお会いしましょう。

近況報告

齊藤孝男(23期)

つばめ会の皆様、OLTの皆様お久しぶりです。23期の齊藤です。坪居君にお願いされたので近況報告を書くことになりました。

まだ大学を卒業して半年ほどしか経っていないのでほとんど書くこともありませんが、思いつくままに書いてみようと思います。

私は現在、キヤノン株式会社平塚事業所で次世代 TV パネルの開発を行っています。知っている人もいるかと思いますが、SED(Surface-conduction Electron-emitter Display、表面伝導型電子放出素子ディスプレイ)というもので、簡単に言うと「ブラウン管 TV の原理を利用した薄型テレビ」です。手前味噌ですが、非常に画質がいいそうです。ただ、私自身はまだ実物を見たことがないので何とも言えないのですが。。。まあ仕事のほうは 8 月末までずっと研修続きだったせいもありよく分からないことが多く、今は慣れるのに精一杯といったところです。またキヤノンは去年から寮を廃止しているため、実家が埼玉の私は 8 月から本厚木で初めての独り暮らしを始めています。まあこっちのほうは最近買ったデジタル TV と HDD レコーダーと、フレッツ光のおかげで段々快適な住環境が構築されつつあります。契約もしていない NHK-BS や WOWOW、スカパー！が見れてしまったりと、とても不思議な環境なのですが、文句を言うことでもないので黙って楽しませてもらっています。最近は大誇大広告気味のフィギュアスケートを見ていますが、テレ朝は放送の質(放送する選手の選択とか実況アナとか)が悪いですね。

オリエンテーリングのほうはというと、社会人になってから運動の習慣が全く無くなってしまったので、先日参加した OLT 杯では坪居君に惨敗と体力の衰えをひしひしと感じています。こりゃいかんと思い、最近はずの居室まで階段を使うようにするなどして少しでも体を鍛えようと無駄な足掻きをしています。時々友人と上高地とか尾瀬とかの山っぽいところに行くのですが、そのときにバテないくらいの体力は維持しようかなと思っています。

近況報告はこの辺で終わりにしようと思いますが、厚木の近くに来ることがありましたらお立ち寄りください。

2006 年度つばめ会活動報告

年月日	イベント・活動名	摘要
2005.11	第9回つばめ会総会	
2005.11	つばめ会会報 Slope(18号)発行	
2005.11	全日本トレイルO選手権	田中淳一(23期):優勝
2005.12	つばめ会幹事会・忘年会開催	
2005.12	OLT 冬合宿	OB がコーチとして参加
2006.1	JC 大会	仁多見剛(20期):実行委員長
2006.2	関東リレー	東工大 OB チーム出場 A: 円井-前田-菊澤、B: 平松-奥田-坪居 (Aチームに激励金あり)
2006.2	OLT 直前合宿	OB がコーチとして参加
2006.3	愛知インカレミドル	サプリメント差入れ プログラムに応援広告掲載
2006.3	全日本選手権	松澤俊行(元コーチ):4位 円井基史(19期):24位 前田裕太(24期):44位
2006.4	つばめ会事務局長交代	鷹觜和邦(24期)より北村伸介(25期)へ交替
2006.5	M1 向け説明会・幹事会開催	
2006.5	つばめ会会報 Slope(19号)発行	
2006.6	京葉 OL クラブ大会	奥田健史(16期):実行委員長
2006.6	関東ロングセレ	サプリメント差し入れ
2006.7	世界選手権(デンマーク)	円井基史(19期)スプリントに出場 つばめ会より激励金提供
2006.8-9	名簿更新活動	情報随時募集中
2006.9	OLT 秋合宿	OB がコーチとして参加
2006.9	インカレロング・クラブカップ	サプリメント差し入れ(インカレ) 現役との混成チーム出場(C C 7)
2006.10	OLT 杯	新人杯賞品提供、円井基史(19期) より世界選手権の地図の提供 OB9人参加

一部、有志による活動を含んでいます。

また、有志の活動は、全てを網羅できていないと思われます。

平成 18 年度つばめ会会計報告書

1. 収入の部	
(円)	
会費(学生)	15000 (1)
会費(社会人)	72000 (2)
利息	19
小計	87019
2. 支出の部	
(円)	
インカレミドル広告費	18120
関東学連リレーOB 選抜チーム補助金	3000
つばめ会口座キャッシュカード作成費	1050
円井選手(19期)世界選手権奨励金	5000
インカレロングセレ差し入れ	3908
インカレロング差し入れ	4223
OLT 杯新人クラス賞品補助	2000
総会案内費	8701
小計	46002
3. 繰越の部	
(円)	
昨年度からの繰越	173580
収入 - 支出	41017
来年度への繰越	214597
以上、報告いたします。	
平成 18 年 11 月 25 日	
つばめ会 会計 田中淳一	
1:1500 円 × 10 人分	
2:3000 円 × 22 人分 + 6000 円 × 1 人分	
昨年度分と今年度分を合わせて払っていただいた方がいらしたのですが、 昨年度分の会計は締めてしまったので、今年度に 6000 円納入という扱いにさせていただきました。	

ML・ホームページ・掲示板について

つばめ会会員間の連絡手段の1つとしてつばめ会ML(メーリングリスト)を立ち上げています。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告など、お気軽に使ってください。メールアドレスはtsubame@egroups.co.jpです。ご不明な点がございましたら、管理者の井ノ川智史(tsubame-owner@egroups.co.jp)までご連絡ください。このMLに関するホームページ(登録メンバーのみ)にて過去ログなどを閲覧することもできます。

<http://www.egroups.co.jp/list/tsubame> にもぜひアクセスしてください。

つばめ会のホームページが稼動中です。ぜひご覧ください。

つばめ会のホームページ(管理人:坪居大介(24期))

<http://www.geocities.co.jp/Athlete/4476/>

東工大OLTのホームページ(管理人:田澤典彦(27期))

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Labo/3247/>

つばめ会の雑談用掲示板を作成しました。(管理人:坪居大介(24期))

<http://x.z-z.jp/?tsubame> です。パスワードは先日MLのほうに流しましたが、つばめ会MLに最近加入した、該当メールを紛失した等の理由でパスワードが分からない方は坪居(t_daisk@yahoo.co.jp)まで連絡ください。

スパム対策として、メールアドレスは全て画像になっています。ご了承ください。

編集後記

今回はつばめ会総会にギリギリ間に合わせる形の発行となりました。
まずは原稿を書ってくれた皆様どうもありがとうございました。
特に、近況報告を依頼した山田さんと斉藤さん、いろいろ不手際がありましてすみません。

今回は少しレイアウトに変化をつけようと思い、表紙に写真を入れてみました。
栄えある(?)第1回は世界選手権に出場した円井さんです。
第2回はただいま考え中です。現役がインカレリレーで入賞してくれたら写真もすぐに思いつくのですが…。

そういえば、先日はOLT杯がありました。
もちろん僕も参加したのですが、久々にたくさんのOBと会うことができ非常に嬉しかったのを覚えています。いや、本当はもっと重要なことがあったのですが多分気のせいでしょう。
その日は酔いつぶれてレジャセンのソファで寝てしまい、「もうOBなのになんでこんなことをしているんだろう…」とってしまったのも多分気のせいです。
もうオリエンテーリングをやめてしまった方も多いたとは思いますが、せめて年1回でもいいからオリエンテーリングに参加していただきたい、久々に会って昔話に花を咲かせたい、などと思っています。今年の春インカレは矢板ですので、ぜひリレーの観戦という形で皆さんに会いたいですね。

さて、次回のSlopeは春インカレ後となります。
今回は特集などは作らなかったのですが、次回は作る予定です。こういうことをしないとSlopeがマンネリ化してしまいそうだなあ、と個人的に思っているのです。
個人的には「地域クラブ特集」なんぞをやってみたい、と思ったりしています。
特集の案を募集いたしますので、何かいいものを思いついたら是非教えてください。

…研究がうまく進んでいなくて卒業できない気がしてきた今日この頃です。
僕の実験をかわりにやってくれる人も同時に募集しています…。

東京工業大学オリエンテーリング部OB/OG 会「つばめ会」会報 Slope 20号 発行責任者 岡部 健志 編集責任者 坪居 大介 (t_daisk@yahoo.co.jp)
--

発行年月日:2006/11/21